

経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県高砂市 高砂市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 1	指定病院の状況 2
直営	21	対象	ド透1訓	救臨地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
88,166	26,705	非該当	非該当	7:1

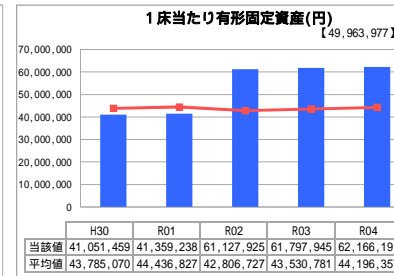
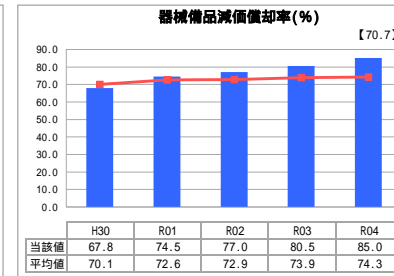
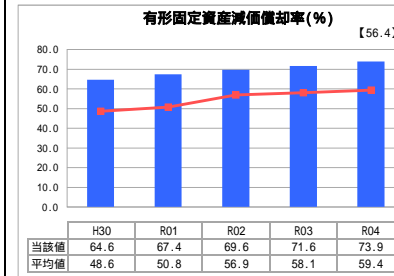
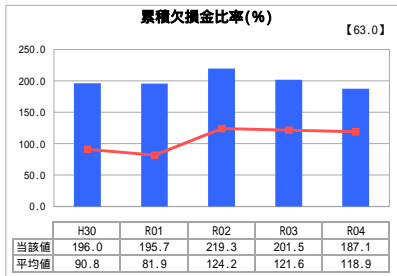
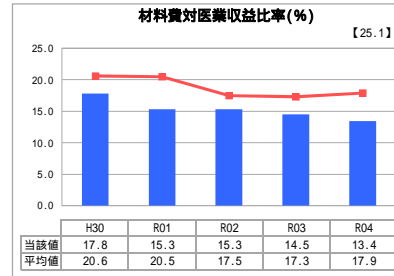
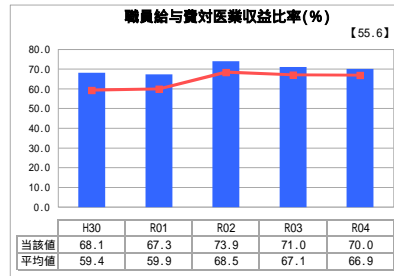
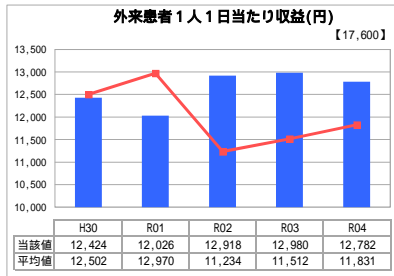
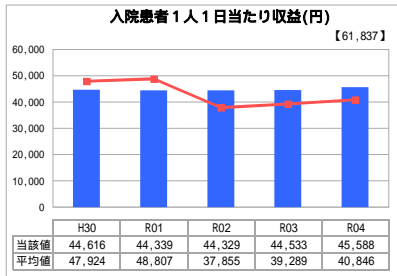
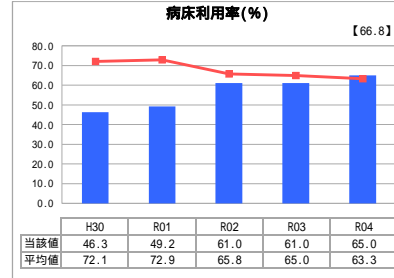
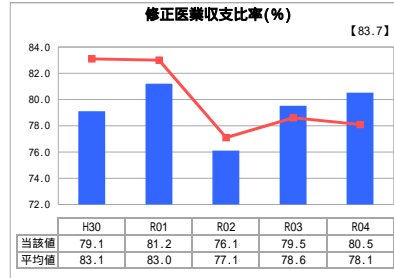
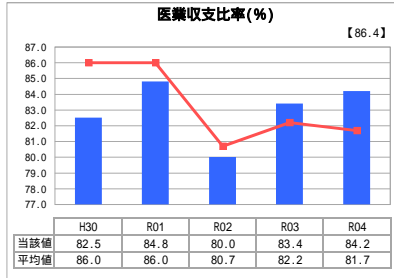
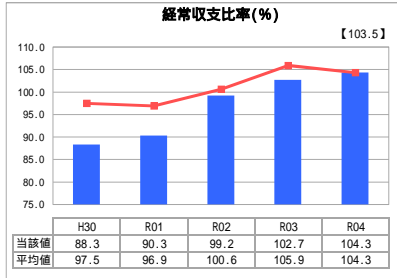
1 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療

2 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
199	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	199
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
173	-	173

グラフ凡例
当該病院値(当該値)
類似病院平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

機能分化・連携強化 (従来の組織・ネットワークを維持)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

地域において担っている役割
 急性期医療を担いつつ、回復期医療(地域包括ケア病棟)、慢性期(維持透析)、ターミナル医療(緩和ケア病棟)も展開できる機能を有することで圏域での役割を果たしている。
 超高齢社会を迎えるにあたり、地域包括ケアシステムにおける地域の中核病院として、「医療分野」だけでなく「介護分野」との橋渡しを担うことで、より地域に密着した医療を展開している。
 また、コロナ禍において陽性患者の入院対応、PCR検査、ワクチン接種等、病院全体で全力でコロナ対応を実施し、公立病院としての使命を果たした。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域包括ケア病棟の効率的な運営(在宅療養患者の入院受入・急性期病棟からの転機・レスパイト入院等)・救急搬送の受入れ増や紹介患者の受入れ増、市の集団健(検)診受託など収益アップを目的に取り組んでいる。
 経常収支比率、医業収支比率共に、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金により改善しているが、医業収支比率については100%を下回っている。主な要因として、医師の減少による患者数の減少により収益が悪化している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、機械備品減価償却率が示すように、保有資産の使用年数が法定耐用年数に近づいており、老朽化が進んでいる。

令和11年度に地方公営企業法上の耐用年数39年を迎えるにあたり、病院の建替えについて、市民の代表である市議会においても議論が始まったところである。

全体総括

令和4年度もコロナ陽性患者の入院対応、PCR検査、ワクチン接種と病院全体でコロナ対応を行い、公立病院の使命を果たし、現金ペースで約3億円の黒字となった。しかし、コロナ後は厳しい経営状況が想定されることから、収益の改善については令和3年度において策定した経営改善計画に沿って進めていく。具体的には回復期機能を充実させ、高度急性期を脱した患者の紹介に対応することで近隣病院との連携強化に努める。また、予防医療の充実として、市の集団健(検)診受託を行い、健診率の向上に取り組むことで、入院・外来患者数の増加に繋げ、収益確保を図る。
 設備・機械備品においては、修繕・更新費用が増加していくことが考えられるため、耐用年数を踏まえた計画的な更新を行う。

「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。